

応援します！家族責任を持つ女性研究者

■ 森林総研の概要



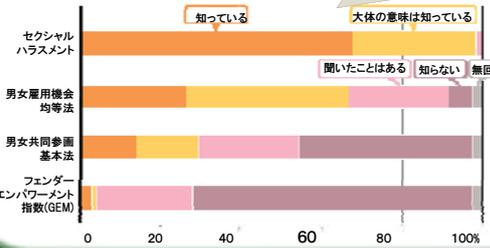
森林総研の支所等の配置

職員構成: 研究職483(50)名(10%)、一般職827(86)名、技術専門職25名、計1335(136)名 (○内は女性)
沿革: 明治38年農商務省山林局林業試験場として目黒に発足、昭和58年つくばに移転、同63年森林総合研究所に名称変更、平成13年独立行政法人となる。同19年林木育種センターと統合、同20年森林農地整備センターを承継。

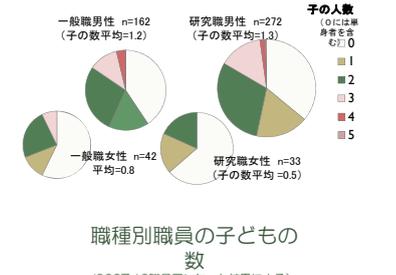
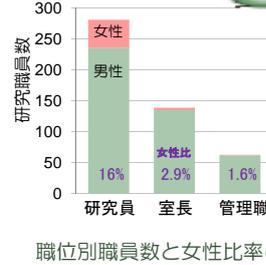
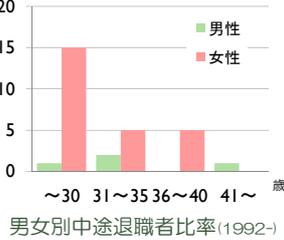
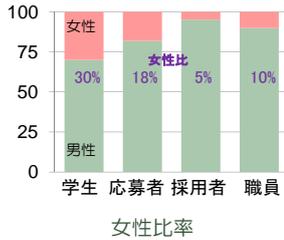


■ 森林総研・職員の意識

アンケートから、職場の男女共同参画に関する知識が十分でないことがわかりました。



■ 森林総研・女性研究者の現状



女性研究者にとって、大きな採用の壁、中途退職者の多さと少ない管理職、子どもの数

-1992年以降、研究を断念して中途退職した研究職員のほとんどは女性であり、その全てが30代である。2009年現在、研究職員の女性研究者比率は10%に過ぎないが、そのうちの7割は、30代~40代前半と、出産・育児に関わる年代である。最近5年間の採用者の女性比率(H16-H20平均)は5%まで減少。一方、管理職は1名のみ。研究職員の女性の子供の数は男性の半分以下である。

森林総合研究所は、文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「応援します！家族責任を持つ女性研究者」(平成19~21年度)が採択されたのを契機に、男女共同参画室を新たに設置し、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、エンカレッジプログラムを進めています。

◆エンカレッジ推進体制



推進本部アドバイザー
原 ひろ子先生
(お茶の水女子大学名誉教授)



▲男女共同参画室スタッフ

男女共同参画室

エンカレッジモデル 4つの柱

1. 推進体制の整備

- 男女共同参画室の設置
- 裁量労働制の導入 (研究職員 H21年7月~)
- 勤務制度・休暇制度の改善検討

3. IT環境の整備

- テレビ会議システムの構築 (本所~支所等間)
- WEBミーティングシステムの構築 (研究室~自宅間)

2. 育児・介護サポート体制の整備

- 所内一時預り保育室開設 (本所、関西支所2009.3~)
- 保育・介護等の地域情報の提供
- 育児・介護研究者に対する研究支援

4. 次世代研究者育成支援

- 男女共同参画意識の啓発活動 (所内意識調査、所内セミナー、シンポジウムの開催等)
- 女性研究者応募・採用促進および広報

◆IT環境



▲TV会議システムを利用した委員会



▲Webミーティングシステム

育児休業中も研究打合せに参加することができて、研究へのモチベーションを維持することができました。

(林業経営・政策領域)



公開シンポジウム

所内セミナー

◆意識の啓発



◆所内一時預り保育室



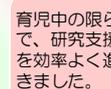
◆研究支援

理由	女性		男性		計
	育児	介護	育児	育児	
PC/Soft貸与	12	2	6	0	21
研究補助員の雇用	9	1	5	0	15



(野生動物研究領域)

研究支援により、育児休業中でも研究活動を継続できたので、論文発表に繋げることができました。



(野生動物研究領域)

育児中の限られた時間内で、研究支援によって研究を効率よく進めることができました。

大学教員の妻は単身赴任のため、平日は父子家庭 (関西支所森林生態研究グループ)

■エンカレッジモデルの達成目標 (ミッションステートメント)

- 裁量労働制の採用 (研究職)
- IT環境の100%整備 (本~支所間、研究所~自宅間)
- 応募者・採用者の女性比率を30%に (関連大学の女子学生比率と同等に)
- 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに
- 出張・転勤、緊急時のサポート体制の100%整備 (本支所)

お問い合わせ

独立行政法人森林総合研究所
男女共同参画室
 FFPRI GEO Gender Equality Office

TEL 029-829-8360, FAX 029-874-8507
 E-Mail geneq@ffpri.affrc.go.jp URL: http://encr.ffpri.affrc.go.jp/



ワーク・ライフ・バランスを確立し、魅力あふれる研究所をめざします！ 2009